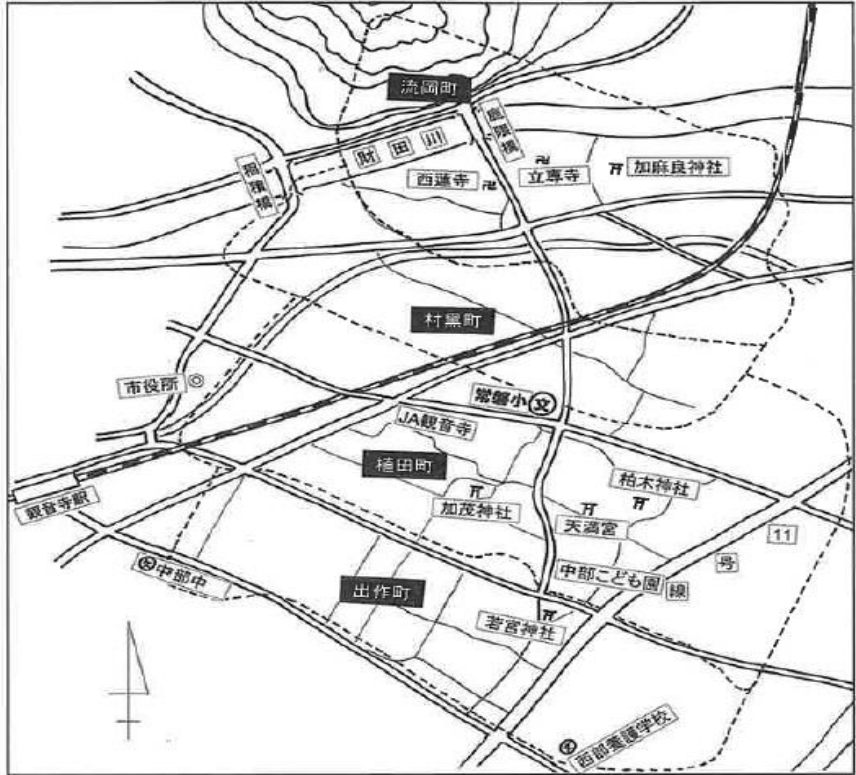


II 校区の概要

1 地域の自然

地域は、観音寺市の市街地東部約2kmの田園地帯に位置する。面積は、約4.71平方kmで、大部分は平坦な水田地帯である。校区の北端では、七宝山系の志保山の南麓が地形に変化をもたらしている。山麓を流れる財田川は、地域の灌漑用水となり、本市水道の貴重な水源の役割を果たしている。土質は、沖積土が多く、肥沃な粘土質土壌が広域を占めている。



2 地域の概観

昭和30年1月に観音寺町と合併して観音寺市となる。平成17年10月11日に観音寺市、大野原町、豊浜町が合併して新観音寺市となる。本市は香川県の西端に位置し、愛媛県境に近く、世帯数25,750戸、人口59,795人（R6.4.1現在）の田園都市である。市域は三豊平野のほぼ中央部にあり、西は風光明媚な瀬戸内海に面し、南は遠く讃岐山脈を境に徳島県と接している。

本校区は、明治初年までは、流岡・村黒・植田・出作がそれぞれ独立した村であったが、明治18年連合村となり、町村制の施行によって常磐村となり、明治25年常磐尋常小学校が創立され、令和4年学校創立130周年を迎え現在に至る。

本校区世帯数及び人口

R6.4.1現在

	流岡町	村黒町	植田町	出作町	計
世帯数(戸)	504	516	875	915	2810
人口(人)	1049	1012	2094	2056	6211

3 地域の産業等

昔から精農家が多く、米麦中心の近郊型の農業が行われてきた。昭和30年代に国道・県道等の改修、昭和48年に県営団地の造成等により、住宅地・店舗等の進出が多くなった。

一方、伝統的な気風として、公民館を中心とした体育・文化活動が活発で連帯意識も強く、PTA活動には定評がある。平成18年2月に、イエロー隊(学校等運営協力会)が結成され、子どもの安心・安全をサポートする体制ができあがった。